

平成 29 年度 学校目標

	視点	4 年間の目標	1 年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	① 幼稚部から高等部にかけての系統化を進め、日本語の習得をより確かなものとする。 ② 学習の理解を深めるための教材・教具の工夫を高める	① 各自の日本語能力に応じた指導に取り組む。 ② 情報機器の活用を進める。	① 各学部で日本語能力をはかるアセスメントを作成する ② iPad の活用を進める。	① 肯定的評価 70%以上 ② 肯定的評価 90%以上
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	① 幼児児童生徒の発達段階に応じた安全や健康、食育の指導に取り組み、安全で健康な学校生活を過ごす。 ② 幼児指導生徒が主体的に学校生活を過ごし、ルールやマナーを自ら学ぶことができるようにする。	① 医療ケア・アレルギー・配慮食・健康管理等に配慮の必要な子どもの健康・安全を守る。 ② いじめやけんかのない学校生活を過ごすとともに、登下校時のルールやマナーを守る。	① 配慮の必要な子どもの一覧を作成し情報を共有すると共に、必要に応じてケース会議を実施する。 ② 教科・領域、特別活動、総合的な学習の時間において、ルールやマナーを守る指導に取り組む。	① 子どもたちが安全・健康に過ごせたか ② 子どもたちがルールやマナーを守れたか。
3	進路指導・支援	① 幼稚部から高等部まで一貫したキャリア教育計画に基づく指導により就職・進学実績を伸ばす。 ② 生徒・保護者のニーズを踏まえ、適切な進路情報の提供を行う。	① 就職・進学率 100% を目指す。 ② 進学情報の提供の充実を図る	① キャリア教育計画の充実を図り、系統的な指導を行うとともに、就職先・進学先の開拓に努める。 ② 進学情報コーナーを整備する。	① 就職率・進学率 100% を継続する。 ② 肯定的評価 70%以上
4	地域等との協働	① 子どもと保護者のニーズに応じたきめ細かい乳幼児相談に取り組む ② 幼稚園・小学校・中学校・高等学校における相談支援を進める。	① 保護者ニーズをしっかりと把握して相談に対応する。 ② 相談が適切であったか検証する。	① 保護者アンケートを実施する。 ② 相談実施後アンケートをとる。	① 肯定的評価 80%以上 ② 肯定的評価 80%以上
5	学校管理 学校運営	① 保護者との連絡体制を点検・整備し、安心して学校生活を送ることができるようにする。 ② 事故・不祥事のない安全な学校づくりを目指す。	① 連絡体制の整備の成果が保護者に伝わるようにする。 ② 事故・不祥事ゼロを目指す。	① 大規模災害時の連絡体制や引取り方法等を整理し、保護者へ周知する。 ② 事故・不祥事研修を 10 回行う。	① 肯定的評価 80% ② 事故・不祥事ゼロ